

「中間のまとめ」作成の目的

【審議会における指摘事項】

東京都が勝手に策定すると、連携は図れない

【ポスト愛知目標における世界的な課題】

引き続き、生物多様性の主流化が必要

◆豊かな自然を有する東京の生物多様性の将来像(案)を示し、様々な主体から意見をもらうことで、**都民や企業とともに作る将来像を目指す。**

◆各主体が生物多様性を考え、自ら取り組める行動について考えるきっかけとし、生物多様性を自分事化することで、**戦略策定後における様々な主体の自主的な取組につなげる。**

「中間のまとめ」の整理に向けたポイント

(1) 将来像の年代設定

⇒2050年を将来像として設定

【委員意見】

・ポスト愛知目標や次期生物多様性国家戦略で、**長期的な将来像を2050年に設定**する予定であり、都も国際的な動きや国と整合を図るべき

※ポスト愛知目標や次期国家戦略の**短期目標については2030年**で検討しているため、都も2030年目標を設定する方向で検討(=都の「戦略ビジョン」とも整合)

(2) 将来像の描き方

⇒**東京を自然の特徴だけでなく、社会的な特徴も含めて整理**

【委員意見】

・東京にも豊かな自然が残されているため、東京の**特徴的な自然の魅力**を内外に発信し、東京の**プレゼンス向上**につなげるべき

・都は区市町村の行政界を超える**広域的な生態系のつながり**を示すべき

・東京の**社会的側面や経済活動**なども踏まえた将来像とすべき

(3) 記載内容のレベル

⇒**中学生程度の年代が理解できる分かりやすい内容と情報量で整理**

【委員意見】

・専門的になりすぎず中学生に分かるレベルにすることで**幅広い年代が理解**できる

・将来像として設定する**2050年に社会の担い手として中心的な役割を果たす**のが今の中学生であり、その年代に訴求できる内容とすべき

・SDGs世代の**副読本として活用**することで若者の理解を深めることで、生物多様性の将来像の実現につながる

「中間のまとめ」構成イメージ

※課題や将来像にポストコロナも反映

地図やイラストを多用し、読みやすい内容や文字により、学生のアクティブラーニングの教材として活用される体裁を目指す(A4横・数十ページ)

目次	掲載内容	
第一章 生物多様性とは	◆「中間のまとめ」の目的 ◆生物多様性とは ◆生物多様性を巡る動向	第4回 検討会
第二章 東京における生物多様性の現状と課題	◆東京における生物多様性の恵み ◆東京における生物多様性の現状と課題	
第三章 東京における目指すべき生物多様性の将来像	◆東京の生物多様性の将来像 ◆東京の社会全体の将来像 ◆東京の地形区分ごとの将来像 (山地、丘陵地、台地、低地、島しょ)	第5回 検討会
第四章 主な施策の方向性	◆主な施策の方向性 〔・検討体制・委員〕 〔・検討過程〕	第6回 検討会